

文教厚生常任委員会記録簿				
会議日程	令和8年2月10日 9:51~10:40			
場所	瀬戸内町役場4階 議員控室			
出席委員	永井委員長	栄副委員長	柳谷委員	泰山委員
	里山委員			
欠席委員				
説明のため出席した者の職氏名				
付議事件	1. 所管事務調査「瀬戸内町の持続可能な介護に関する調査」について			
	意見とりまとめ			
担当職員名	宮原書記	委員長署名	永井 しずの	
会 議 の 概 要				
<p>1. 調査報告書の取りまとめについて  文教厚生委員会の報告を議会の最終日に行うこととし、泰山委員から提出された案を軸に内容の整理が行われた。</p> <p>介護事業における人材確保について：離島・僻地における人材確保のため、空き家の活用による職員住宅の確保や、船賃・通勤費の支援、町内事業所勤務を要件とした奨学金返済支援などが盛り込まれた。第9期計画期間中に制度設計および実施方針を取りまとめ、速やかに実施に移すよう求めることで合意。</p> <p>配食サービスについて：当初の「生活防衛」という見出しから、より分かりやすい「配食サービスについて」に変更さ。物価高騰により配食サービスや送迎・訪問体制の維持が困難な現状を踏まえ、原材料費・燃料費への緊急的支援および利用者負担軽減策を早急に講じるよう求める内容となった。なお、泰山委員から提案のあったEV車両の導入については、民間事業者への配慮や維持管理の観点から慎重な意見が出されたため、特定の車種（EV）にはこだわらず、「中長期的なコスト削減策」という表現に留めることとなった。</p> <p>基盤強化（「アンマ」の活用）について：「アンマ」事業の現状と今後の役割を再確認するため、2月中に保険福祉課長と協議の場を設けることになった。その結果を踏まえて、報告書に盛り込むかどうかを最終判断。</p>				
<p>2. その他（放課後児童クラブの定員問題）  委員会としては現在の調査事項（介護）と異なるため、組織としての対応は難しいと事務局から説明。永井委員長が個人の議員として対応。</p>				
<p>3. 次期調査事項について  来年度（令和8年度）の調査事項として、以下の案が出された。  『認定こども園について（瀬戸内町幼児教育・保育のあり方に関する調査）』  次回の調査事項の詳細は、学童問題の進展なども踏まえ、後日改めて検討する。</p>				
<p>4. 閉会</p>				